

# 光学部品(レンズ)の軽量化に挑戦

## ソディック

ソディックは、最新鋭射出成形機「GL30LP」を展示実演した。LPはスーパーバーションを意味する最新鋭機。同社の射出成形機の特長は、文字通り可塑性部分がスクリーン部にV型に加工された独特の設計で、一般に「Vライン」成形機と呼ばれる、可塑性、速度、制御などに優れているため、高品質製品成形分野で特に評価が高い。

同社首脳は、「当初このV型の機能を知る人が少ないものの、最近では、国内はもとより、台湾を筆頭にアジア諸国でも知られるようになった」とその進展を語り、

「今回出展したGL30LPは、速度応答性を極めて高くした機種で、従来からコネクタ、薄肉製品をターゲットにしていたが、今回はレンズ仕様を追加して出展した(写真3)。」

同首脳によると、「レンズの発生も抑えられる」という利点もある。

今回のe・PELLETERは、牛尾アジア貿易有限公司とコラボして、山崎純生社長は「リベレット社が2、3社、粉砕業者も多く、大部分がスマホ部品が数社見えていたが、現状からリベレットまで一貫した技術はどこにもない」と見えてきたことへの興味が多かった。共同出展の効果は「ディーラーがいなくて、また、ディーラーにもあって、続けた、あっても台湾、中国と」

# 共同出展効果で多くの引き合い

## ホロン精工

ホロン精工(株)は、度目の出展で、初回から連続してオンライン用の「e・PELLETER」とオンライン「e・PELLETER」がある空冷式造粒機「COMPACK」を出展した。3回目ということで、確実に名が知れわたってきて、写真4で粉砕する実演を行った。

この画期的な構造は、同社独自開発の構造(特許取得済)で、造粒機の固定力には超合金を使用、ガラス繊維入り材料をカットして均一サイズで良好なベレットが得られる。長寿命である。一方、軟質なエラストマーでも独自のギャップレス構造により、同じく均一サイズで良好なベレットが得られる。さらに、空冷式コールドカッタなので水浴式に比べコンパクトであり、独自開発の構造で



写真4 ホロン精工のブースで山崎純生社長(右)と大久保稔国際営業部長

「e・PELLETERは超小型化されており、画期的な構造により、成形前の予備乾燥、煩わしい装置内の手作業が不要なことが最大の特長で、操作性、簡便さなど大きなメリットを生み出す。なお現在、業界では同様な機種の生産は行われていない。」

「e・PELLETERは超小型化されており、画期的な構造により、成形前の予備乾燥、煩わしい装置内の手作業が不要なことが最大の特長で、操作性、簡便さなど大きなメリットを生み出す。なお現在、業界では同様な機種の生産は行われていない。」

「e・PELLETERは超小型化されており、画期的な構造により、成形前の予備乾燥、煩わしい装置内の手作業が不要なことが最大の特長で、操作性、簡便さなど大きなメリットを生み出す。なお現在、業界では同様な機種の生産は行われていない。」

## 自動車など用途の変換に広がる

### 日本製鋼所

日本製鋼所は、最新の射出成形機「J80ADS-60H」を展示した。これは、射出成形機「J130ADS-60U-HS」の2機種を併せて展示し、それぞれ異なる用途での使用が可能であることをアピールしている。

「J80ADS-60H」は、射出成形機「J130ADS-60U-HS」の2機種を併せて展示し、それぞれ異なる用途での使用が可能であることをアピールしている。

## 現場で指揮したホロン精工

現場で指揮したホロン精工に見て来た人もいた。今回のe・PELLETERは、牛尾アジア貿易有限公司とコラボして、山崎純生社長は「リベレット社が2、3社、粉砕業者も多く、大部分がスマホ部品が数社見えていたが、現状からリベレットまで一貫した技術はどこにもない」と見えてきたことへの興味が多かった。共同出展の効果は「ディーラーがいなくて、また、ディーラーにもあって、続けた、あっても台湾、中国と」

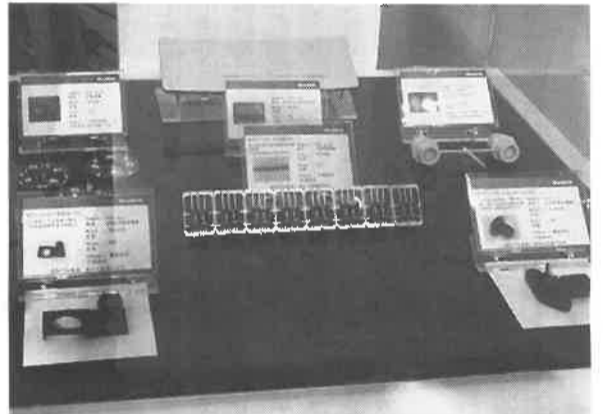


写真3 ソディックの射出成形機による精密成形品

ホロン精工株式会社

超コンパクト空冷式造粒機

特許取得済

イー・ペレッター

# e・PELLETER

空冷式造粒機(オフライン用)  
EP50-4/EP50-8

EP50-4  
外形寸法: W580×D410×H1560mm  
最大造粒量: 150kg

**画期的**

- 射出機からの溶融ストランドをベルトにカットする成形工場向けの造粒機です。エンプラを主原料に、粉砕材は任意で選べる成形向けに、ハーフサイズと同等サイズの造粒機も用意しています。
- 特許取得済のスクリーン採用により、製品の品質向上を極限まで抑えられます。
- 空冷式なので成形前の予備乾燥が不要です。また、マスターパッチを使用したカラーリングにも対応しています。

**経済的**

- コンパクトな設計で設置スペースが狭く、低コストで提供できます。
- さらに、自社工場内のベルト装置が容易になり、廃棄していたランナーの処理費用や、溶融でのベルト加工していた委託費用の削減に貢献します。

**簡単**

- 溶融ストランドが冷空で冷やされながら自動的にカッター部へ移動しますので、わずらわしい室内の手作業が不要です。
- スクリーンとカッターの速度、ヒーター温度、エア流量を設定すれば容易に稼働できます。

LCP

PBT

エラストマー

プラマグ

POM(カラーリング)

プラスチックのリサイクルに技術で貢献します。

ホロン精工株式会社

〒389-0822長野県千曲市上山田3813-191  
TEL. 026-276-0323 FAX. 026-275-6284  
www.holon-seiko.co.jp

## 低圧水流無公害洗浄機

### 金型水管専用 NR-1100 型

http://www.nr1.co.jp/  
資料請求はブルーエンジニアリング株式会社  
TEL 027-364-3069 FAX 027-328-1296

写真5 日本製鋼所の小間で、射出機械

# DMP

## 2018レポート(下)



写真1 東洋機械金属のブースで中国営業部中村寛部長

このようにマイナスの情報をもってDMP2018会場に足を入れると、この情報が変わった。あちこち

最新の新聞情報による見渡すと、バイヤーの熱意は高く出展社を言わせて産業があつて個別にみると

2018年の実質成長率は6.6%、28年振りの低水準で、さらに2018年10~12月は6.4%に落ちた。消費などの主要指標は昨年秋以降急変、下降している。この最大要因は、当然ながら米中貿易戦争であるが、イギリスのEUからの離脱もあり、世界的にも先行きの景況の陰りが懸念されている。

東洋機械金属(株)は、従来の薄肉と高速の路線を踏襲し、高速・薄肉「S11」の製品開発用射出成形機の紹介を行い、この分野では「CSシリーズ」を公開し、他の追随を許さない強い展示力を示してきた。中国では射出速度1,000mm/sが普通機種で、金型製造

東洋機械金属(株)は、従来の薄肉と高速の路線を踏襲し、高速・薄肉「S11」の製品開発用射出成形機の紹介を行い、この分野では「CSシリーズ」を公開し、他の追随を許さない強い展示力を示してきた。中国では射出速度1,000mm/sが普通機種で、金型製造

### 5Gに代われば大きなチャンス

#### 東洋機械金属

東洋機械金属(株)は、従来の薄肉と高速の路線を踏襲し、高速・薄肉「S11」の製品開発用射出成形機の紹介を行い、この分野では「CSシリーズ」を公開し、他の追随を許さない強い展示力を示してきた。中国では射出速度1,000mm/sが普通機種で、金型製造

「CSシリーズ」を公開し、他の追随を許さない強い展示力を示してきた。中国では射出速度1,000mm/sが普通機種で、金型製造

「CSシリーズ」を公開し、他の追随を許さない強い展示力を示してきた。中国では射出速度1,000mm/sが普通機種で、金型製造

### 5Gに向けて本格競合へ 用途多様化にも期待 プラ機械

DMPレポート(上)では、ビッグニュースとして、2019年のDMPは大概構想のもと新たに立ち上げる「2019 広東国際ロボティクス・インテリジェント機器博覧会」(5月8-11日、東莞)と、会場の規模が15万坪と世界最大級の「2019 大湾区工業博覧会」(11月26-29日、深圳)それぞれの併催として年2回開催されることを詳しく報じた(前号:1月号)。

DMP2018については概況のみだったが、今号では主に日本企業の出展内容に絞った。出展各社、バイヤーに現況について聞いてみると、好不況感相俟っており、受け止め方が違っていた。ともあれプラスチック機械関係は、とにかく5Gが喧伝されたので、通信開始までの2年後に向け本格競合が始まり、一方で用途の多様化にも期待をかけていると取材を通して感じた。(7ページ面)

好調な産業も多い。平均化した国家レベルの数字とは違ってくる。特にブランド力のある出展社やバイヤーが多いのは強みである。

今回、日本有数の主要プラスチック機械メーカーに取材したが、その日本勢のコメントを一言でいえば「成形品は10機器関連部品の成形に変わりはしないが、これまで樹脂化されていなかったiPhoneやタブレットなどのバックカバー、筐体の樹脂化に取り組んでいること」が最大の特長だった。

現在、規格化が進んでいる5G(第5世代移動通信システム)向けのiPhoneやタブレットなどのバックカバー、筐体の樹脂化への一斉に走り出した雰囲気だった。今後は5Gを利用したIoTにより、自動車、医療、セキュリティなど広範囲にわたって5Gに対応した製品及び、特に高精度・高精細化した部品が求められる、それに応える部品の樹脂化が期待される。

「成形品は10機器関連部品の成形に変わりはしないが、これまで樹脂化されていなかったiPhoneやタブレットなどのバックカバー、筐体の樹脂化に取り組んでいること」が最大の特長だった。

「中国市場は米中貿易摩擦の影響から確実に景気減退するだろう。具体的には2018年10月から状況が悪くなっている。しかし、春節明けの3月には向上きになれば」と期待した。

東洋機械金属(株)の中国営業部長中村寛氏は、このように中国市場の現状を分析し、今後の見通しを述べた。

中村氏は、「2019年にも制限付き」といった具合で、中村氏の面目躍如を存分にみせられた。

中村氏によると、「2019年、台湾系は中国投資を控え、ASEAN中心に投資する」と予想。台湾系の復活を予測する一方、「中国市場は米中貿易摩擦の影響から確実に景気減退するだろう。具体的には2018年10月から状況が悪くなっている。しかし、春節明けの3月には向上きになれば」と期待した。

### 5G市場でトップサプライヤーに

#### 住友重機械

住友重機械工業(株)は、5G市場でトップサプライヤーになるべく、最新の射出成形機「SE180EV-LGP」を開発し、5G通信技術の普及を促進している。

住友重機械工業(株)は、5G市場でトップサプライヤーになるべく、最新の射出成形機「SE180EV-LGP」を開発し、5G通信技術の普及を促進している。

## 2019 広東国際ロボティクス・インテリジェント機器博覧会

2019 Guangdong International Robot and Intelligent Equipment Exposition

### 第21回 東莞 国際金型・金属加工、プラスチック・包装展

21st China Dongguan International Mould, Metalworking, Plastics & Packaging Exhibition

### 広東国際総合ロボットソリューション博覧会

Guangdong International Total Robot Solution Expo

中国機械工業連合会(中国ロボット産業連盟)  
Co-organizer: China Machinery Industry Federation (China Robot Industry Alliance)  
規模: 80,000m<sup>2</sup>

**2019年5月8-11日**  
広東現代国際展覽中心(中国広東省・東莞市・厚街)



写真2 住友重機械の最新射出成形機「SE180EV-LGP」で5G携帯用筐体を成形

「2020年の通信開機に向けて携帯各社は5G技術」で、さらなる進化の後に、この市場でのトップサプライヤーになるべく、最新の射出成形機「SE180EV-LGP」を開発し、5G通信技術の普及を促進している。

住友重機械工業(株)は、5G市場でトップサプライヤーになるべく、最新の射出成形機「SE180EV-LGP」を開発し、5G通信技術の普及を促進している。

## 2019 大湾区工業博覧会

Greater Bay Area Industrial Expo

### 第22回国際金型・金属加工、プラスチック・包装展

22nd China DMP International Mould, Metalworking, Plastics & Packaging Exhibition

**2019年11月26-29日**  
深圳国際会展中心  
Shenzhen World Exhibition & Convention Center

空前の規模!  
160,000m<sup>2</sup>

主催者:  
広東省産業情報技術省  
東莞市人民政府

日本総代理:  
株式会社 ナード・インターナショナル  
Tel: +81-6-6191-0005  
E-mail: naad@oak.ocn.ne.jp  
https://www.naadinternational.com

主催者:  
Association of Japan Plastics Machinery  
JPM 日本プラスチック機械工業会

Organizer:  
訊通展覽公司  
Paper Communication Exhibition Services  
Tel: 852-2763 9011, 86-20-8761 2356, 021-6304 5419  
Info@paper-com.com.hk www.dmpshow.com



DMP2019では単独のゲートはなくなるかも

市場はすでに飽和状態にある、という見方もあり、アップル製品などは販売量の減少も伝えられている。平山氏は、「5G通信技術は現状のデータ通信速度よりも、容量をはるかに超えるものであり、もう一度、市場を刺激する大きな要因となつた。今回は5G通信を一早くキャッチできるの筐体成形という展示だった。DEMAは、厚み0.3mm、サイクルタイム2.885sの仕様で、薄肉製品は、電話に限った物で、885sの仕様で、薄肉は、家電から自動車まで大きな広がりを見せるは形した。

主催者:  
広東省産業情報技術省  
東莞市人民政府

日本総代理:  
株式会社 ナード・インターナショナル  
Tel: +81-6-6191-0005  
E-mail: naad@oak.ocn.ne.jp  
https://www.naadinternational.com

主催者:  
Association of Japan Plastics Machinery  
JPM 日本プラスチック機械工業会

Organizer:  
訊通展覽公司  
Paper Communication Exhibition Services  
Tel: 852-2763 9011, 86-20-8761 2356, 021-6304 5419  
Info@paper-com.com.hk www.dmpshow.com